

新大学基本構想 発表！

2019年度 海洋システム工学分野 主任
大学45期 中谷 直樹

2019年4月に大阪府立大学と大阪市立大学は経営統合し、「公立大学法人大阪」として新たな出発をしたところですが、法人の中期目標においては、「両大学の統合による新大学実現へ向けた取組の推進」を掲げており、教育研究組織や新キャンパス、教育内容や組織の在り方等について検討を進めてきました。この度、8月27日に新大学のめざす姿を「新大学基本構想」としてとりまとめ、本法人から大阪府・大阪市へ提案されました。

新大学は2022年春の開学を目指して構想が固められており、1学域、11学部、15研究科という、真の総合大学へと発展いたします。学生数は約16,000人、教員数は約1,400人となり、国公立大学では全国3位（入学定員数順位）といった規模の大学へと生まれ変わります。新大学発足当初は、旧二大学の既存キャンパスでの教育となりますが、2025年度からは、森ノ宮に新キャンパスを設置し、そこで全組織で共通した基幹教育を行うことで、集約化によるシナジー効果を狙う構想となっております。

現在の海洋システム工学課程・分野は、工学部海洋システム工学科および工学研究科航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野となり、これまで同様に中百舌鳥キャンパスにおいて、工学部・工学研究科の下で船舶海洋工学分野を中心とした内容の教育・研究を行う独立的な組織として継続いたします。

詳しい「新大学基本構想」については、下記URLのHPに詳しい情報が掲載されておりますので、ご興味のある方はご覧ください。

大学基本構想について (<http://www.osakafu-u.ac.jp/news/msg20190827/>)





大学 24 期（昭和 51 年度学部卒）は、5 年前に有馬温泉で行った前回の還暦同窓会の時から、教養課程で同クラスであった機械Ⅱと合同で同窓会を実施している。

今回、久しぶりの合同同窓会が令和元年 5 月 26 日に新大阪ワシントンホテルで実施され参加した。大学入学当時、造船業は、まだ日本の産業としては盛況であったが、国内で船舶を教育している大学は 6 校しかなく府大に入ってくる学生の出身地も全国にまたがっていた。今回の同窓会でも卒業生の居所が東は東京から西は長崎とあって、阪本君ほか 2 名の幹事さんは一人でも多くの人に参加できるように色々準備してくれた結果、宴会場所を利便性のある新大阪駅近にしたようだ。同窓会は 12 時より開催され、参加者は全員で 21 名。船舶は卒業生 30 名中 10 名で前回の還暦同窓会での参加者とほぼ同じ。多くは前回参加者であったが、久しぶりの参加者もいた。冒頭、幹事のあいさつで出欠者に対する説明があったが、健康上の問題や都合悪く欠席になった人も含めて今後の皆の健康願って乾杯。続いて、参加者それぞれ順番に近況報告を行なった。我々同窓生は、65 歳を超えて高齢者の仲間入り世代にはなったが、今までの延長線上で何らかの形で働き続けている人が多く、みんな相変わらずの元気ぶりで近況を披露してくれた。我々が卒業した時代は、石油ショック後の余波で凶らずも、造船以外の会社に就職した人が多く、IT 会社、官庁、教育機関などに自ら活路を求め、卒業生の就職先開拓者の役割を担ってきたとも言えよう。従って、今もたくましく生き抜いているように見えた。

同窓会の中で鷗朋会の副会長をしている藤原君から、府大の近況や大学の合併予定などの説明があった。今回はホームカミングデーに参加して実際の府大の様子を見て、そのまま大学の近場で同窓会をしようと呼びかける案内もあり、参加者の高い関心が得られたようだ。同窓会は半日で終わったが、予定通り飽き足りない人々のために別の席を求めて、夜遅くまでみんなで団欒をして楽しい 1 日となった。

同窓会は、多くの興味ある情報に満ち溢れ、活力とアドバイスを各人に与えてくれる中々得難い機会であるので、今後も参加していきたい。

尚、同窓会企画と運営に当たるのは、やはり大変であることを横で見えつつ、幹事さんにはお礼と敬意を申し上げます。



大学 24 期同窓生 集合写真

事務局からのお知らせ

■ 会費納入のお願い

2019 年度の会費納入（年会費 3,000 円）をお願い致します。同封の振込用紙をご利用いただくか、りそな銀行、郵便振替口座にご送金下さい。なお、すでに会費を納入いただいている方には請求書を同封しておりません。御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 原稿募集！！

「鷗朋」は毎年約 2 回「鷗朋ニューズレター」は毎年 1 回発行・配布しています。是非ご寄稿下さい！

1. テーマ 自由（ご当地紀行、仕事や趣味、大学時代の思い出、同窓会だより等）
2. 投稿規定 word 形式のデータおよび写真、イラストをメールまたは郵送にて
3. 提出期限 随時
4. 提出先 鷗朋会事務局（担当：小塚）まで TEL/FAX：072-254-7461

書籍紹介：『隠された十字架 江戸の数学者たち』

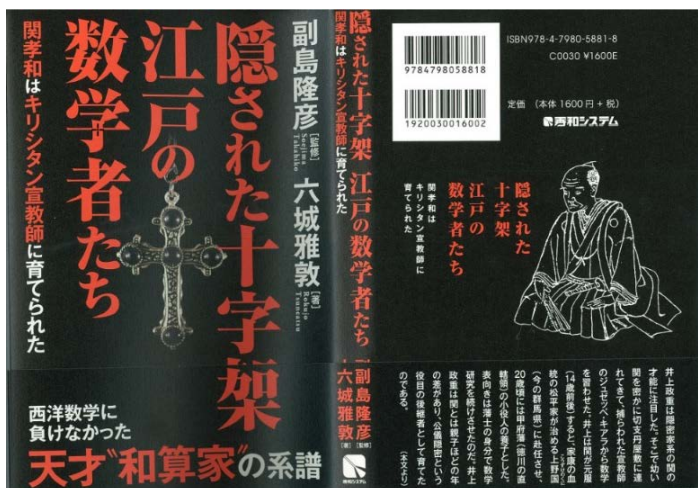


関孝和はキリタン宣教師に育てられた』

書籍名：隠された十字架 江戸の数学者たち 関孝和はキリタン宣教師に育てられた

著者名：六城雅敦（ろくじょう つねあつ） 全 222 ページ

発行所：秀和システム 発行日：2019年9月10日 定価（本体 1,600円＋消費税）



【著者紹介】

著者の六城雅敦氏は 1968 年生まれで、大学 40 期の同窓生です。同著のプロフィール欄によりますと、エンジニアリング系コンピュータ会社、製薬会社等を経て、現在、自営業とのことです。

【書籍紹介】

書籍紹介をするにあたって一読しておこうと思立ち、令和 1 年 9 月 10 日に近所の未来屋書店(大型書店)に買いに行きました。当該書が置いてあったのは、「数学」に分類される書棚でした。

タイトルから奇想天外な空想時代小説を予想していましたが、豈図らんや史実考証に基づき論理構成された江戸時代における数学・天文学などの導入過程を記した歴史書でした。多くの文献考察に裏付けられた持論展開に至る学術論文と認識しましたが、随所に配した図表や絵が飽きさせません。また、良く知った人物や初めて知る興味深い人物が登場し、その人々が数学にどのように関係したかを詳しく知ることができます。本書は、『第 1 章 本当は伴天連が教えた江戸の「和算」、第 2 章 和算を築いた男たち—ジュゼッペ・キアラと関孝和、第 3 章 和算家たちの系譜とグループ、第 4 章 日本近代化の原動力となった江戸の数学者たち、第 5 章 数学が神となる時代へ』、の 5 章構成です。以下、その内容のほんの一部分を紹介します。

『天文学と物理学から発展した数学という”記述言語”』、ほう！なるほど、確かに数学は記述言語だ。江戸時代は宣教師によってもたらされた西洋数学の研究が急速に進み日本独自の和算が確立され、数学書がベストセラーになるほど江戸庶民にも数学が浸透した時代だったとのこと。江戸時代のキリスト教禁止令は、幕府の厳しいキリスト教弾圧が一般的な歴史として周知されていると思いますが、実は宣教師が有する数学をはじめとした自然科学を江戸幕府が独占するための穏やかな隔離と懐柔だった。年月日を示す現代の暦(カレンダー；今は太陽暦)は、天文学、物理学、数学技術の粋(それが『暦学』とのこと)の凝集として完成されたものであることは広く知られていると思います。しかしその実体は、『A 国の暦を B 国が受け入れるということは、B 国は A 国の時の流れに取り込まれる＝属国となる、ことを意味する。よって、他国の暦を容易に導入してはならない。』、という今では思いもよらないことを知ることになります。陰陽師 安倍晴明でよくご存じの土御門家は暦の制定を司る天文学の家系であったこと。測量技術も同時にもたらされたが、それは築城をはじめとした土木事業には欠かせぬもので各藩がその技術に注目したようですが、幕府は各藩が独自に技術習得することを禁止したほどであった。などなど。また、本書は、登場人物に番号を付して時代を明示する時系列表に書き込むことで、人物と時代の流れを理解しやすくする工夫がされています。『数学』という単語を通して、私が今までに知り得なかった歴史の裏側を垣間見ることができました。

『こんな本を読んで、こんなところが面白かったよ。皆さんに紹介してよ!』という書籍がありましたら、事務局までどしどし連絡ください。

Homecoming Day 2019

◆大阪府立大学ホームカミングデー2019のご案内◆

今年もホームカミングデーを、白鷺祭最終日の11月3日(日)に中百舌鳥キャンパスにて開催します。久しぶりの母校(母港)で旧交を温め、そして白鷺祭に集う元気な後輩に励ましの言葉をかけていただければと思います。

また、ご存じのように今年4月に「公立大学法人 大阪」が発足しました。そして3年後の2022年4月の府大・市大の両大学統合に向け、準備を進めております。今回のホームカミングデーでは、辰巳砂 法人副理事長・府大学長 による、新大学についての講演も行います。

◆ 開催日：2019年11月3日(日) 白鷺祭 最終日
於 中百舌鳥キャンパス

◆ 内容：

新大学について

講演者：公立大学法人大阪副理事長・大阪府立大学長
辰巳砂 昌弘

内容：新大学の実現をめざして

会場：学術交流会館(C1棟) 10:30~11:30

対象：卒業生、保護者、白鷺祭来場者

ウェルカムパーティー(会費3,000円)

会場：体育館内 特設会場(C2棟) 12:00~14:00

内容：ビジネスアイデアコンテスト表彰式、学生による研究成果の一例紹介、
応援団演舞、エヴァコールによる学生歌の合唱ほか

併設展示：各種団体(地域同窓会ほか)、クラブ(つばさ基金による支援御礼)など

司会：木岡 真理奈さん

テレビ高知アナウンサー

(府大 工学域 物質化学系学類 化学工学課程 2017年卒業)

◆ 注意事項：

パーティーには事前の参加申し込みと会費振込みが必要となります。

ウェルカムパーティー参加申込み

電話かインターネットサイトからお申し込みください。

- ・ 電話：072-254-8143 (校友会直通)
- ・ サイト：<http://www.opucr.osakafu-u.ac.jp/>

トップ画面の「ホームカミングデー2019参加申込ページ」をクリック

参加費3,000円(コンビニからの事前振込) 支払期限 10月23日

同時開催される同窓会(〇期同窓会など)を予定されている卒業生の方は、校友会HPに掲載されていますので、校友会事務局または、鷗朋会事務局までご連絡下さい。

事務局からお詫びと訂正のお願い

「鷗朋第28号」 訃報連絡に間違いがありました。

つきましては、下記のように訂正させていただくとともに、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

橘川 元一氏(2017年9月6日)、正しくは、橘川 元一氏(2019年2月8日)です。

■ 鷗朋会ニューズレター 第14号

発行日/2019年10月10日

鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付
<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~alumni/>
E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp
TEL/FAX: 072-254-7461